「障がいのある人の人権」

長野県手をつなぐ育成会　事務局長　　塚田なおみ

プロフィール

　2011年4月から　　長野市手をつなぐ育成会　会長職就任　　現在に至る

　　同　　　　　　　 長野県手をつなぐ育成会　副会長就任　　現在に至る

2015年12月から　 長野県手をつなぐ育成会　事務局長　就任　現在に至る

　長野市

　　　・長野市社会福祉審議会

　　　・長野市障がい者スポーツ協会副会長

　　　・長野市虐待差別解消連携協議会

　　　・長野市心身相談委員協議会副会長

　　　・社会福祉法人　長野市社会事業協会評議員

　長野県

　　　・長野県障がい者施策推進会議

　　　・長野県障がい者スポーツ協会評議員

　　　・長野県虐待差別解消連携会議

　　　・長野県社会福祉協議会理事

　　　・長野県障がい者社会参加推進協議会

**長野県手をつなぐ育成会とは・・・**

1952年東京都の知的障害児を持つ3人のお母さんによる「この子の幸せ」を願い設立したことがきっかけとなっている。

当時は優性思想下の非人道的な考え方が横行する社会世相にあり、障害児に教育は必要なしと就学猶予され、障害のある子が誕生すると密かに、座敷牢で人様に知れずに育てるといったことに、抵抗のない時代背景があった。

そんな中での勇気ある母たちが立ち上がり、その思いの流れが多くの親、教育者、行政福祉関係者の思いにもつながれ「親の会」が全国的な運動として拡散し、長野県でも56年の活動の歴史を刻んでいる。

**育成会活動を展開する中で、母として生活者として学んできたこと。**

障がい者差別とは・・・・　　　　資料

意思決定支援とは・・・　　　　資料

親なきあと相談室・・・　　　　資料

大切にしていること

　　快食・快眠・快便

　　　　　大人の人間の細胞は60兆個

　　　　　日々の代謝は加齢とともに衰えていくけれど、良い食事、良い睡眠、良い排泄は、豊かな人生の第一義